

中部日本海 5 高専共同 PR サイト

一般科目応用数学科 中谷実伸

0・はじめに

2009 年夏。

昨年この広報に書かせていただいた「動画ページ刷新とガールズプロジェクト」と並行する形で、もう一つの「プロジェクト」が進行していた。

「中部日本海高専共同 PR サイト」

そう銘打たれた新企画は、先述の「動画～プロジェクト」と同時期に、当時の広報委員長から私宛に直々に持ち込まれたものであった。

あれから 3 年が過ぎ、軌道に乗り始めたこの企画について、今回はサイト開設までの流れを簡単に紹介したいと思う。

1・ワーキンググループの立ち上げ

今企画には、実は前例がある。近畿地区の 7 高専で運営されている「高専辞典—近畿 7 高専共同 PR サイト」(<http://www.kinki7kosen.jp/>) がそれである。



高専辞典—近畿 7 高専共同 PR サイト

このサイトは、学科を超えた高専間の学生交流事業の一環として、近畿地区7高専の学生を中心として製作されたものである。

2009年5月。石川高専にて「第1回中部日本海高専会議」という会議が開かれた。これは「中部日本海」地区の5つの国立高専（長岡・富山・石川・福井・舞鶴）の校長・副校長を中心とする会議で、5高専が連携する共同事業や学生教職員の交流などを目的とするものである。

この会議の席上で、近畿地区の7高専による共同事業の例として先の「高専辞典」が紹介され、同じような企画を中部日本海の高専でできないか検討された。そこで各高専から教員と職員を1名ずつ合計2名が参加し、5高専合計10名からなるワーキンググループを立ち上げることになった。

福井高専からは、教員のスタッフとして本校 web サイトに関わっていた私が選ばれ、職員からは情報サービス系の久保氏が選ばれた。

そして2009年8月18日。まだまだ暑さの厳しい夏の日に「第1回中部日本海高専共同 PR サイト WG（ワーキンググループ）」が石川高専大会議室にて開催されることとなった。

WG では当面の間、近畿地区の「高専辞典」立ち上げと運営に携わられた舞鶴高専の井上教員が座長として進行していただくことが、まず了承された。

こうして、この共同 PR サイトが動き出したのである。

2・WG としての活動

まず井上座長から近畿地区の「高専辞典」の開設までの経緯などが紹介され、その中で運営についての課題や問題点についても説明が為された。

次に開設するサイトの名称の確認と、開設に向けた課題が討論された。

サイトの名称は「中部日本海 5 高専共同 PR サイト」となり、メインコンセプトも「入学者数増」よりも「認知度アップ」に重点を置くものとした。サイトの作成や運営に対する、学生の参加の仕方についても議論が為された。第1回の WG はこういった大まかな方針を決めることと、スタッフの顔合わせで終了した。

第2回の WG は同年10月7日に、同じ石川高専大会議室にて行われた。

ここでサイト開発担当業者が決められ、今後のスケジュールについて議論が為された。

また、サイトのメインターゲットとして、中部日本海地区の中学生や保護者、中学校の教員、そして在学学生を挙げ、各高専の魅力や特色を知ってもらい、高専の認知度をアップするというコンセプトから、より具体的なコンテンツ案を議論した。

高専ならではの授業や研究室の紹介のページなどが決まったが、さらに「将来の夢を叶える学校・学科は？」というページも作られることになった。これはこれまでよく見られた「学科→その学科で行ける就職先」という流れではなく、「こういう職業につきたい→ならばこの高専のこの学科」という、いわば逆引きのページである。

この「将来の夢を実現できる」というコンセプトは、そのままこのサイトの愛称案の「高専 Dream」に繋がるものであった。

また学生の参加について、今年度は見送り、翌年度から「学生編集委員会」を編成して各ページの立案作成に携わってもらうこととなった。サイトの骨格が固まってから参加してもらう方が良いであ

ろう、との判断からである。

2010 年度末のサイト仮開設を目標に、企画はより具体性を持って動き出したのである。

第 3 回の WG は 12 月に開催された。

ここで「高専 Dream」のロゴデザインが決定した。

年度末のサイト開設に向けたスケジュールがより具体的になり、各校担当分の原稿について、年明け 1 月中旬を締切として提出することとなった。この際、画像データの取り扱いについて議論が為された。各校で取り扱いに関する基準は微妙に異なっており、特に人物の画像については注意が必要であった。今回は各校の責任のもとで、関係者に了承・承諾を得てから使用することが決まった。

担当業者からの見積書が提出され、契約についての話し合いも為された。

各高専に戻ったスタッフは、担当分の原稿を作成して、とりまとめである舞鶴高専に送り、その完成を待つこととなった。

第 4 回の WG は 3 月 9 日に行われ、これが WG として最後の活動となった。

仮アップされたサイトを見ながら、全員でコンテンツ内容について議論を行った。また実施要項についても、より具体的な詰め作業が行われた。

そして来年度となる 2010 年度から、現役の高専生たちに参画してもらってコンテンツの充実を図ること、それに伴い、機構本部に「学校の枠を超えた学生の交流活動事業計画書」として予算請求することが承認された。

この WG では、仮アップされたサイトを各高専で観てもらい、広報委員会や入試委員会からの意見を集約すること、そしてその意見を基に修正を行い、6 月 1 日に正式に開設することが決定した。

そして最後に、次回以降は WG ではなく「中部日本海 5 高専共同 PR サイト編集委員会」として活動することが正式に決定した。

3・開設後

2010 年 6 月 1 日。「高専 Dream－中部日本海 5 高専共同 PR サイト」は開設した。また現在は、学生編集委員会も編成され、年に数回の議論の場を設けて活動をしている。

これについては、また別の機会に書かせていただきたいと思います。



高専 Dream—中部日本海5高専共同 PR サイト